

IEC/TC109/MT1 国際会議報告

IEC/TC109は、低電圧システム内の機器の絶縁協調を担当し、主に基本安全規格であるIEC 60664シリーズの発行及び改正を行っています。特に、IEC 60664-1（低電圧システム内の機器の絶縁協調—第1部：原則、要求事項及び試験）は、多くの製品安全規格に、空間距離及び沿面距離の規定が引用されています。

2022年5月23日～25日に開催されたIEC/TC109/MT1では、次のことが審議されました。

1. IEC 60664-1:2020 ed.3の見直し（将来のamd.1で対応予定）

①過電圧カテゴリの定義

IEC 60664-1とIEC 60364-4-44とでは、過電圧カテゴリの定義が異なるとの指摘に対する見直し。

②表F.6（異なる標高で空間距離だけを検証する試験電圧）の見直し

表F.6のインパルス試験電圧の一部が、6.2.2.1.4の計算と一致しないため、表F.6を計算結果にあわせて見直す。また、1000 m標高の場所で試験する場合の試験電圧を追加する。

③表F.8（定常状態ピーク電圧、短時間過電圧又は反復ピーク電圧に耐える空間距離の規定値）に対する代替試験の電圧値の確認

空間距離が表F.8のケースA（不平等電界の規定値）よりも小さい場合の交流試験電圧のピーク値の規定に誤記があるので修正する。

④直流関係

DC電圧に対する沿面距離の要求事項を新たに5.3.6として追加することを検討する。5.3.6の追加以外のDCに関する検討課題は、次のとおり。

- 1000 V ~ 1500 VDCに対するプリント配線板の規定値
- 再生可能エネルギー対応
- エレクトロマイグレーション対応

2. IEC/TR 60664-2-1（第2-1部：適用の手引—寸法記入例及び絶縁破壊試験に関するIEC 60664の適用の解説）改正版の作成

IEC 60664-1:2020 ed.3に対応するための改正作業を開始、日本がプロジェクトリーダーを任されている。会議では、基本的に第1章～第6章までをIEC 60664-1:2020の構成に合わせ、7章に事例、8章に質問集、9章にワークシートの順に並べ、附属書にIEC/TC109が扱う規格の概要を参考で記載することについて同意を得たが、各国及び関連技術委員会に意見を求める必要があるとして、DCを発行して意見を求めることとした。（5/27に109/205/DC発行済み、Closing Dateは9/9）その結果について、次の2022年9月下旬の国際会議で検討する。

今後のスケジュール： CD発行：2023年3月、TR発行：2024年12月

【お問い合わせ先】

電気製品安全センター E-mail : center@jet.or.jp